



市公式キャラクター  
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和6年3月26日

所 管	教育委員会事務局生涯学習課		
担 当	吉村 新悟	問い合わせ	0573-26-6853
所 管	中山道広重美術館		
担 当	中垣 絵理	問い合わせ	0573-20-0522

報 道 機 関 各 位

## 春季特別企画展「没後160年記念 三代歌川豊国 —「人物」と「街道」を描く」の開催について

上記企画展の開催についてお知らせします。ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

### 記

1. 会 期 令和6年4月4日（木曜日）から6月16日（日曜日）  
前期 4月4日（木曜日）から5月6日（月曜日・祝日）  
後期 5月10日（金曜日）から6月16日（日曜日）  
開館時間：午前9時30分から午後5時  
（入館は午後4時30分まで）  
休館日：毎週月曜日（ただし4月29日、5月6日は除く）、展  
示替え期間（5月7日（火曜日）から9日（木曜日））
2. 場 所 中山道広重美術館（大井町176番地1）展示室1、2
3. 内 容 三代歌川豊国（初代国貞、1786-1864）は、江戸時代末期に最も人気を得た浮世絵師です。初代歌川豊国へ入門後、国貞時代から頭角を現し、特に人気の歌舞伎役者を描く役者絵や美しい女性を描く美人画など、人物描写で好評を博しました。本展では、豊国の号を襲名後の街道シリーズに注目し、中山道の宿場風景を背景に歌舞伎役者たちを取り上げた「木曾六十九駅」や、歌川広重との合筆による東海道シリーズ「双筆五十三次」などを出陳します。三代豊国は、人物と風景を組み合わせた街道シリーズを多く手掛けています。広重作品とは一味違う、三代豊国による「人物」と「街道」の世界をお楽しみください。

4. 主催 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館
5. 後援 朝日新聞社
6. 料金 一般820円（20人以上の団体は660円）  
※18歳以下無料  
※障がい者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）をお持ちの方と付き添いの方1名は無料  
※毎週水曜日はフリーウェンズデー、毎週金曜日はフリーライダー（共に終日観覧無料）  
※毎月第1日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

7. 本展の見どころ

- (1) 三代豊国の手になる中山道シリーズ「木曾六十九駅」  
「木曾六十九駅」は、三代豊国が唯一中山道をテーマとしたシリーズです。宿場風景を背景に、その地に関連する芝居演目の登場人物に扮した役者が描かれます。若手から往年の役者まで、当時の歌舞伎界を彩った役者たちを各図で楽しむことができます。
- (2) 歌川広重との合作「双筆五十三次」と「当盛十花撰」を同時公開  
三代豊国と広重は、1枚の作品を二人で手掛ける「合筆」作品を数多く残しています。本展では、東海道シリーズ「双筆五十三次」と、役者と花を取り合わせた「当盛十花撰」をご紹介します。
- (3) 三代豊国門下の絵師たち  
幕末から明治期に活躍した豊原国周や、後に三代国貞を襲名する歌川国政（後期展のみ）など、三代豊国門下の絵師たちをご紹介します。



左 三代歌川豊国「木曾六十九駅 熊谷 熊谷寺 蓮生坊」  
中 三代歌川豊国／歌川広重「双筆五十三次 御油」  
右 三代歌川豊国／歌川広重「当盛十花撰 紫陽花」  
※全て中山道広重美術館蔵



市公式キャラクター  
『エーナ』



## 8. 関連イベント

### (1) 学芸員による作品ガイド

日 時：前期 4月 21日（日曜日）

後期 5月 19日（日曜日）

各日 午前 10時 30分から 40分間を予定

場 所：展示室 1、2

### (2) 美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日 時：随時（要事前予約）

令和6年度春季特別企画展「三代歌川豊国—「人物」と「街道」を描く」作品リスト

(T.C…田中コレクション)

【前期 2024/4/4~5/6】

	作者	作品名	判型	制作年	所蔵
1	三代歌川豊国	木曾六十九駅 東都日本橋 御祭ノ踊 時致	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
2	三代歌川豊国	木曾六十九駅 板橋 戸田川 網干左母次郎	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
3	三代歌川豊国	木曾六十九駅 蕨 蕨手村 乳人政岡	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
4	三代歌川豊国	木曾六十九駅 浦和 調ノ社 油屋おこん	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
5	三代歌川豊国	木曾六十九駅 大宮 秩父山遠景 畠山重忠	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
6	三代歌川豊国	木曾六十九駅 上尾 雷電山 菅丞相	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
7	三代歌川豊国	木曾六十九駅 桶川 浅間之祠 富士太郎	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
8	三代歌川豊国	木曾六十九駅 鴻巣 久下村 久下玄蕃	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
9	三代歌川豊国	木曾六十九駅 熊谷 熊谷寺 蓮生坊	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
10	三代歌川豊国	木曾六十九駅 深谷 岡部ヶ原 兎原田五平	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
11	三代歌川豊国	木曾六十九駅 本庄 赤木山眺望 助太夫	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
12	三代歌川豊国	木曾六十九駅 新川 かの川 おひやりこ伝兵衛	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
13	三代歌川豊国	木曾六十九駅 倉ヶ野 佐野ノ舟橋旧跡 土手のお六	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
14	三代歌川豊国	木曾六十九駅 高崎 からす川 煙草屋源七	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
15	三代歌川豊国	木曾六十九駅 板鼻 佐野古跡 源左工門常世	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
16	三代歌川豊国	木曾六十九駅 安中 妙義山 お祭金五郎	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
17	三代歌川豊国	木曾六十九駅 松井田 横川 関守兵藤	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
18	三代歌川豊国	木曾六十九駅 坂本 碓氷峠 あやめ	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
19	三代歌川豊国	木曾六十九駅 軽井沢 浅間山 奥州	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
20	三代歌川豊国	木曾六十九駅 沓掛 古宿村 奴逸平	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
21	三代歌川豊国	木曾六十九駅 追分 前田ヶ原 左枝猪ノ清	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
22	三代歌川豊国	木曾六十九駅 小田井 かいなヶ原 瀬尾十郎	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
23	三代歌川豊国	木曾六十九駅 岩村田 こまかた坂 高尾	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
24	三代歌川豊国	木曾六十九駅 塩灘 筑摩川 多賀大領	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
25	三代歌川豊国	木曾六十九駅 八幡 布引山ノ道 難波六郎	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
26	三代歌川豊国	木曾六十九駅 望月 牧の原 大高主殿	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
27	三代歌川豊国	木曾六十九駅 芦田 更科 高砂勇美之助	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
28	三代歌川豊国	木曾六十九駅 長窪 石割坂 五郎太	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
29	三代歌川豊国	木曾六十九駅 和田 鳩の峰 舞鶴	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
30	三代歌川豊国	木曾六十九駅 下諏訪 犬飼ノ清水 犬飼現八	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
31	三代歌川豊国	木曾六十九駅 塩尻 桔梗が原 高坂弾正	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
32	三代歌川豊国	木曾六十九駅 洗馬 太田の清水 了竹	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
33	三代歌川豊国	木曾六十九駅 本山 三浦山 片貝	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
34	三代歌川豊国	木曾六十九駅 熱川 諏訪社 勝頼	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
35	三代歌川豊国	木曾六十九駅 奈良井 鳥居峠 鬼ヶ嶽	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
36	三代歌川豊国	木曾六十九駅 蕨原 山吹山 おふで	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
37	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 日本橋	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
38	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 品川	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
39	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 川崎	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
40	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 加奈川	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
41	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 程かや	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
42	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 戸塚	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
43	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 藤沢	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
44	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 平塚	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
45	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 大磯	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
46	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 小田原	大判錦絵	安政元年(1854)7月	当館蔵
47	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 箱根	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
48	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 三嶋	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
49	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 沼津	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
50	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 はら	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
51	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 吉原	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
52	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 蒲原	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
53	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 由井	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
54	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 興津	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
55	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 江尻	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
56	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 府中	大判錦絵	安政元年(1854)8月	当館蔵
57	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 鞠子	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
58	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 岡部	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
59	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 藤枝	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
60	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 嶋田	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
61	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 金谷	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
62	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 日坂	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
63	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 懸川	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
64	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 菖蒲	大判錦絵	安政元年(1854)6月	当館蔵
65	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 紫陽花	大判錦絵	安政元年(1854)6月	当館蔵
66	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 百合花	大判錦絵	安政元年(1854)6月	当館蔵
67	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 牽牛花	大判錦絵	安政元年(1854)6月	当館蔵
68	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 芙蓉	大判錦絵	安政元年(1854)6月	当館蔵
69	三代歌川豊国	左馬頭義朝軍評定之図	大判錦絵三枚続	天保14~弘化4年(1843-47)	当館蔵
70	三代歌川豊国	東海道 日本橋	大判錦絵	文久3年(1863)	当館蔵 (T.C)
71	守川周重	(天衣紛上野初花)	大判錦絵三枚続	明治14年(1881)3月	当館蔵
72	楊洲周延	(仮名手本忠臣蔵)	大判錦絵三枚続	明治15年(1882)4月14日	当館蔵
73	豊原国周	(楼門五三桐)	大判錦絵二枚続	明治29年(1896)2月	当館蔵

前期 錦絵計73点

【後期 2023/11/9~12/10】

	作者	作品名	判型	制作年	所蔵
1	三代歌川豊国	木曾六十九駅 宮ノ越 木曾川ノ明星岩 暁星五郎	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
2	三代歌川豊国	木曾六十九駅 福島 棧橋 福清	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
3	三代歌川豊国	木曾六十九駅 上松 小野の滝 頼風	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
4	三代歌川豊国	木曾六十九駅 須原 木曾館跡 義賢	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
5	三代歌川豊国	木曾六十九駅 野尻 駒ヶ嶽遠景 松右工門女房小よし	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
6	三代歌川豊国	木曾六十九駅 美戸野 揚籠山 八重桐	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
7	三代歌川豊国	木曾六十九駅 妻籠 鯉岩 法界坊	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
8	三代歌川豊国	木曾六十九駅 馬籠 下坂町 新左工門女房お時	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
9	三代歌川豊国	木曾六十九駅 落合 釜ヶ橋 石川五右工門	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
10	三代歌川豊国	木曾六十九駅 中津川 坂本 武智光秀	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
11	三代歌川豊国	木曾六十九駅 大井 西行坂 うつしゑ	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
12	三代歌川豊国	木曾六十九駅 大久手 琵琶峠 日向景清	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
13	三代歌川豊国	木曾六十九駅 細久手 日吉の里 此下藤吉	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
14	三代歌川豊国	木曾六十九駅 御嶽 行平塚 松風	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
15	三代歌川豊国	木曾六十九駅 伏見 木曾川 弥平兵衛宗清	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
16	三代歌川豊国	木曾六十九駅 太田 名産美濃紙 紙屋治兵衛	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
17	三代歌川豊国	木曾六十九駅 鶴沼 犬山の城遠望 道節	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
18	三代歌川豊国	木曾六十九駅 加納 鶴飼動作	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月カ	当館蔵
19	三代歌川豊国	木曾六十九駅 河渡 稲葉山 斎藤道三	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
20	三代歌川豊国	木曾六十九駅 御影寺 谷汲観音 万長後家	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
21	三代歌川豊国	木曾六十九駅 赤坂 青墓 小萩	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
22	三代歌川豊国	木曾六十九駅 垂井 金蓮寺 犬塚信乃	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
23	三代歌川豊国	木曾六十九駅 関ヶ原 不破の関 伴作	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
24	三代歌川豊国	木曾六十九駅 今須 とき八塚 常磐御前	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
25	三代歌川豊国	木曾六十九駅 柏原 寝物語 児雷也	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
26	三代歌川豊国	木曾六十九駅 醒ヶ井 鶯ヶ原 梅が枝	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
27	三代歌川豊国	木曾六十九駅 番場 浅妻の里 浅妻船	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
28	三代歌川豊国	木曾六十九駅 鳥居本 神教丸薬店 寺岡平右工門	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
29	三代歌川豊国	木曾六十九駅 高宮 多賀大社 佐々木源太左工門	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
30	三代歌川豊国	木曾六十九駅 越川 あづち山 蘭丸	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
31	三代歌川豊国	木曾六十九駅 武佐 鏡山 局岩藤	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
32	三代歌川豊国	木曾六十九駅 守山 野洲川 おかね	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
33	三代歌川豊国	木曾六十九駅 草津 野路玉川 清玄尼	大判錦絵	嘉永5年(1852)11月	当館蔵
34	三代歌川豊国	木曾六十九駅 大津 逢坂山 黒主	大判錦絵	嘉永5年(1852)10月	当館蔵
35	三代歌川豊国	木曾六十九駅 京都 三條大橋 奴蘭平	大判錦絵	嘉永5年(1852)12月	当館蔵
36	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 袋井	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
37	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 見附	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
38	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 浜松	大判錦絵	安政元年(1854)12月	当館蔵
39	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 舞坂	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
40	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 荒井	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
41	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 白須賀	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
42	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 二川	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
43	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 吉田	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
44	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 御油	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
45	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 赤坂	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
46	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 藤川	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
47	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 岡崎	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
48	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 池鯉鮒	大判錦絵	安政2年(1855)4月	当館蔵
49	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 鳴海	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
50	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 宮	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
51	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 桑名	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
52	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 四日市	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
53	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 石薬師	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
54	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 庄野	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
55	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 亀山	大判錦絵	安政4年(1857)4月	当館蔵
56	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 関	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
57	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 坂之下	大判錦絵	安政4年(1857)4月	当館蔵
58	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 土山	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
59	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 水口	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
60	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 石部	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
61	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 草津	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
62	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 大津	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
63	三代歌川豊国/歌川広重	双筆五十三次 京 大尾	大判錦絵	安政2年(1855)8月	当館蔵
64	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 秋海棠	大判錦絵	安政元年(1854)6月	当館蔵
65	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 牡丹	大判錦絵	安政5年(1858)3月	当館蔵
66	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 芥子	大判錦絵	安政5年(1858)3月	当館蔵
67	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 夏菊	大判錦絵	安政5年(1858)3月	当館蔵
68	三代歌川豊国/歌川広重	当盛十花撰 撫子	大判錦絵	安政5年(1858)5月	当館蔵
69	三代歌川豊国	東海道五十三次之内 石薬師 よし高	大判錦絵	嘉永5年(1852)	当館蔵 (T.C)
70	歌川国貞	巴御前	大判錦絵	天保年間(1830-44)	当館蔵 (T.C)
71	三代歌川豊国	箱まわし七郎助 松本幸四郎	大判錦絵	文政年間(1818-29)カ	当館蔵
72	梅堂国政	恋女房染分手綱	大判錦絵二枚続	明治6年(1873)	当館蔵
73	守川周重	(市原野のだんまり)	大判錦絵二枚続	明治16年(1883)4月	当館蔵
74	豊原国周	(那須与市西海硯)	大判錦絵三枚続	明治20年(1887)1月	当館蔵

後期 錦絵計74点

□ 令和6年度友の会会員を募集します

美術館友の会で心豊かな一年を！

中山道広重美術館では友の会会員を募集しています。美術館をもっと楽しんでいただくための各種特典が満載。美術と共に心豊かな暮らしを楽しんでみませんか。

■ 会員の種別と特典

〔一般会員〕

- ① 展覧会（企画展および特別企画展）の通年無料観覧
- ② 同伴者2名まで割引観覧
- ③ ミュージアムショップの5%割引（一部除外商品あり）
- ④ 展覧会広報物や会員限定ニュースレターの送付
- ⑤ 会員限定イベント（年1回程度）へご招待
- ⑥ 展覧会関連イベントおよび次年度連続講座の先行予約受付
- ⑦ 招待券進呈（10枚）

〔賛助会員〕

一般会員の特典に加えて、

- ⑧ 同伴者2名まで観覧無料
- ⑨ 当年に図録を発行した場合、1冊進呈

■ 年会費

会員種別	区分	年会費
〈一般会員〉	一般	3,000円
	学生	2,000円
〈賛助会員〉	個人・法人・団体（一口）	8,000円

■ お申し込み方法

美術館に備え付けの申込用紙に記入後、美術館受付で会費を添えてお申し込みください。（学生の方は学生証をご提示ください）お電話や当館ホームページのお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けます。

■ その他

会員資格は毎年4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。  
 ※中途脱会される場合、会費の払い戻しはありません。  
 ※ご入館の際は必ず受付に会員証をご提示ください。  
 ※連続講座受講生は、受講料のお支払いにより自動的に友の会一般会員となります。別途入会手続きは必要ありません。

皆さまのご入会をお待ちしております。



□ 美術館ボランティアを募集しています

美術館ボランティアを始めてみませんか。

中山道広重美術館では、年間を通じてさまざまな形で館の活動にご協力いただけるボランティアスタッフを随時募集しています。活動をしていただくと、展示解説の事前学習、ボランティア研修会などに参加する機会ができ、仲間の輪が広がります。

■ 活動内容

- ・浮世絵ナビルームの案内、体験コーナーの補助や説明
  - ・来館者への館内説明、展示解説・広報物の発送作業
  - ・展覧会会場設営の補助、展示室での監視
- ※交通費・昼食費などの金銭的な報酬はありません。

■ 活動条件

- ・おおむね週1日以上活動できる方
  - ・活動を始める前にボランティア養成講座を受講できる方。
- ※養成講座は随時開講します。詳しくはお問い合わせください。  
 ▲その他、館周辺の美化活動、生け花など、さまざまな形で活動されている方もいらっしゃいます。

■ お申し込み方法

ボランティア活動に興味をお持ちの方は直接ご来館いただくかお電話または当館ホームページのお問い合わせフォームからお気軽にお問い合わせください。

□ 第20回広重賞恵那市こども版画コンクール作品展  
 広重賞に「レトロな廊下」

第20回広重賞恵那市こども版画コンクールには市内33のこども園・保育園・小中学校・支援学校から2,294点の応募があり、このうち172点が入賞・入選しました。主な入賞作品は、広重賞「レトロな廊下」（中学1年生）、市長賞「海で一番巨大なカメ」（小学3年生）、市議会議長賞「くじらの逃避行」（中学1年生）などです。受賞された皆さま、おめでとうございます。作品展は当館展示室2（2F）で3月17日（日）まで開催されます。



左：【広重賞】  
「レトロな廊下」（中学1年生）  
 右上：【市長賞】  
「海で一番巨大なカメ」（小学3年生）  
 右下：【市議会議長賞】  
「くじらの逃避行」（中学1年生）

■ 令和6年度中山道広重美術館フリーウェンズデー・フリーフライデー スポンサー企業のご紹介

令和6年度（2024）は以下スポンサー各社のご協賛により、開館日の毎週水曜日、毎週金曜日はどなたも無料で展覧会をご覧いただけます。

協賛企業	FREE WEDNESDAY	毎週水曜日は観覧無料、フリーウェンズデー 〈スポンサー〉(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ	ナカヤマグループ	(株)デジタ
	FREE FRIDAY	毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー 〈スポンサー〉(株)銀の森コーポレーション、楽園住宅・カネコ・木KeyPoint、(株)サラダコスモ ちこり村	(株)銀の森コーポレーション	楽園住宅・カネコ・木KeyPoint



中山道広重美術館  
 〒509-7201  
 岐阜県恵那市大井町 176-1  
 TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322  
<https://hiroshige-ena.jp>  
 \* JR 中央線恵那駅から直進徒歩約5分  
 \* 中央自動車道恵那インターから約5分  
 ウェブミュージアムショップ↓  
<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>

美術館ホームページ

hiroshige\_ena

hiroshige\_ena\_museum

ウェブミュージアムショップ

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭  
 「清流の国ぎふ」文化祭2024  
 ともに・つなぐ・みらいへー清流文化の創造ー  
 2024年10月14日（月・祝）～11月24日（日）



会期 2024 (令和6年)  
 4月4日(木) ▶ 6月16日(日)  
 【前期】4月4日(木) - 5月6日(月・祝)  
 【後期】5月10日(金) - 6月16日(日) ※前後期全点入れ替え

春季特別企画展  
 没後160年記念

# 三代歌川豊国 「人物」と「街道」を描く

Spring Special Exhibition

Legacy of Utagawa Toyokuni III : Portraits and Highways  
 — Commemorating the 160th Anniversary of his Death

【Exhibition dates】  
 April 4th (Thu) - June 16th (Sun)  
 Period I : April 4th (Thu) - May 6th (Mon/Public Holiday)  
 Period II : May 10th (Fri) - June 16th (Sun)

中山道広重美術館  
 Hiroshige Museum of Art · Ena

令和6年度連続講座受講生募集

「黄金期の浮世絵出版界」

天明・寛政期(1781-1801)の約20年は、江戸町人文化の隆盛と共に美人画や役者絵などの浮世絵版画が目覚ましく発展したことから「浮世絵黄金期」と称されています。貸本屋から始まり、数々のヒット作を生み出した名プロデューサー、蔦屋重三郎(1750-97)。八頭身の理想美を追究した鳥居清長(1752-1815)と、女性の心情に迫る大首絵を手掛けた喜多川歌麿(1753-1806)。歌舞伎役者の個性を似顔で表現した勝川春章(1726?-93)と初代歌川豊国(1769-1825)。同じく役者絵で知られるも、依然として謎の多い東洲斎写楽(生没年不詳)。そして、森羅万象に挑んだ葛飾北斎(1760-1849)。本連続講座では、18世紀末を代表する版元や浮世絵師たちを各回取り上げ、華やかに展開した浮世絵黄金期への理解を深めます。

〈講座日程・内容〉

春季講座	〈第1回〉2024(令和6)年4月13日(土) 「蔦屋重三郎 江戸の文化プロデューサー」 池田 美美 氏(サントリー美術館主任学芸員)
	〈第2回〉5月11日(土) 「喜多川歌麿を味わう」 山本 ゆかり 氏(多摩美術大学講師/川崎・砂子の里資料館学芸員)
	〈第3回〉6月8日(土) 「勝川春章と歌川豊国 役者絵の発展」 渡邊 晃 氏(太田記念美術館上席学芸員)
秋季講座	〈第4回〉9月7日(土) 「江戸のヴィーナス 鳥居清長の美人画」 田辺 昌子 氏(千葉市美術館副館長)
	〈第5回〉10月5日(土) 「葛飾北斎 知られざる顔」 日野原 健司 氏(太田記念美術館首席学芸員)
	〈第6回〉11月9日(土) 「東洲斎写楽研究の現状」 浅野 秀剛 氏(大和文華館館長)

※所属・肩書等は2024年1月時点。日程・内容等を変更する場合がございます。

場 所: 中山道広重美術館 講座室(3F)  
時 間: 各回 午後1時30分～3時30分(予定、質疑応答を含む)  
受講料: 4,000円(全6回)

- ・講座生は中山道広重美術館友の会一般会員の特典が受けられます。
- ・当日空席が発生した場合のみ単独受講が可能です。(1回500円、観覧料別、予約不可)

【お申し込み方法】

美術館受付に備え付けの申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えて直接ご提出ください。お電話や当館ホームページのお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けています。なお、定員(50名)になり次第締め切ります。  
お申し込み・仮申し込み受付開始: 2024(令和6)年3月7日(木)から  
お問い合わせ: 中山道広重美術館 TEL(0573)20-0522

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

- 毎週水曜日は観覧無料、フリーウエンスデー  
(スポンサー) (株) エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株) デジタ
- 毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー  
(スポンサー) (株) 銀の森コーポレーション、  
楽園住宅・カネコ・木KeyPoint、(株) サラダコスモ ちこり村

歌川広重との合作

「双筆五十三次」と「当盛十花撰」を同時公開

三代豊国と広重は、1枚の作品を二人で手掛ける「合筆」作品を数多く残しています。本展では、東海道シリーズ「双筆五十三次」と、役者と花を取り合わせた「当盛十花撰」をご紹介。二人の得意分野が1枚に盛り込まれた贅沢なシリーズです。



◆その他、幕末から明治期に活躍した豊原国周や、後に三代国貞を襲名する四代歌川国政(後期のみ)など、三代豊国門下の絵師たちの作品を出品。

図版(全て中山道広重美術館蔵)

- ①三代歌川豊国「木曾六十九駅 奈良井 鳥居峠 鬼ヶ嶽」
- ②三代歌川豊国「木曾六十九駅 本山 三浦山 片貝」
- ③三代歌川豊国「木曾六十九駅 八幡 布引山ノ道 難波六郎」
- ④三代歌川豊国「木曾六十九駅 熊谷 熊谷寺 蓮生坊」
- ⑤三代歌川豊国「木曾六十九駅 福島 棧橋 福清」
- ⑥三代歌川豊国/歌川広重「双筆五十三次 御油」
- ⑦三代歌川豊国/歌川広重「当盛十花撰 紫陽花」

Museum Shop News

ミュージアムショップから もっと知りたい「三代歌川豊国」

ミュージアムショップでは、春季特別企画展に出品される三代歌川豊国(初代国貞)の作品が掲載された書籍を取り扱っています。当館オリジナル図録『浮世絵木曾街道三種揃踏』をはじめ、いづれも貴重な書籍です。この機会にぜひお求めください。(価格は変更となる場合があります)



- 図録『浮世絵木曾街道三種揃踏』中山道広重美術館発行 2,800円
- 町田市立国際版画美術館監修 渡邊見解説『謎解き浮世絵叢書 三代豊国・初代広重 双筆五十三次』二玄社発行 2,200円
- 太田記念美術館監修 日野原健司著『歌川国貞 これぞ江戸の粋』東京美術発行 2,750円  
※価格はすべて税込

Spring Special Exhibition

Legacy of Utagawa Toyokuni III : Portraits and Highways — Commemorating the 160th Anniversary of his Death

[Exhibition dates] April 4th (Thu) - June 16th (Sun) Period I: April 4th (Thu) - May 6th (Mon/Public Holiday) Period II: May 10th (Fri) - June 16th (Sun)

観覧料 一般/820円(660円) ( )内は20名以上の団体料金  
▲18歳以下、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。  
開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(ただし4月29日、5月6日は除く)、5月7日(火)～9日(木)  
主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館  
後援 朝日新聞社

【関連イベント】

- 学芸員による作品ガイド  
日 時: 前期4月21日(日)、後期5月19日(日) 各日午前10時30分から40分程度  
場 所: 展示室1、2(1、2F)
- 美術館ボランティア幽遊会による概要説明  
日 時: 随時(要事前予約)

三代歌川豊国(初代国貞、1786-1864)は、江戸時代末期に最も人気を得た浮世絵師です。初代歌川豊国へ入門後、国貞時代から頭角を現し、幅広いジャンルで筆を振るいました。特に人気の歌舞伎役者を描く役者絵や、美しい女性を描く美人画など人物描写を得意とし、長い画業の中で不動の名声を確立しました。

本展では、豊国の号を襲名後の街道シリーズに注目し、「木曾六十九駅」(嘉永5年/1852)と「双筆五十三次」(安政元年/1854)をそろいで出陳します。「木曾六十九駅」は、同年刊行された「東海道五十三次之内」(通称 役者見立東海道)の大当たりを受け、中山道版として刊行が開始されました。両シリーズともに、宿場風景を背景に役者の半身像が大きく描かれる点が特徴といえます。この「1枚で2度おいしい」シリーズは、たちまち好評を博しました。また、「双筆五十三次」は、背景となる東海道の風景を歌川広重が、前景の人物を三代豊国が担当したものの。この豪華なコラボレーションは、庶民の購買意欲を大いに掻き立てたことでしょう。

どのシリーズも街道シリーズという枠に収まらず、歌川派における役者絵の第一人者・三代豊国の本領が存分に発揮されています。広重作品とは一味違う、三代豊国の「人物」と「街道」の世界をお楽しみください。

「木曾六十九駅」

「木曾六十九駅」は、三代豊国が唯一中山道をテーマとしたシリーズです。各宿場風景を背景に、その地に関連する芝居演目の登場人物に扮した役者が描かれます。若手から往年の役者まで、当時の歌舞伎界を彩る役者たちを各図で楽しむことができます。



春季特別企画展  
没後160年記念  
三代歌川豊国  
「人物」と「街道」を描く  
4月4日(木)～6月16日(日)  
【前期】4月4日(木)～5月6日(月・祝)  
【後期】5月10日(金)～6月16日(日)  
※前後期全点入れ替え  
会期 2024 (令和6年)